

2020年度 中間決算説明資料



株式
会社

山陰合同銀行

中間決算説明資料 目次

2020年度中間決算ハイライト

1. 2020年度中間決算ハイライト(連結)		1
2. 2020年度中間決算ハイライト(単体)		2
3. 資金利益及び役務取引等利益(単体)		3
4. 主要勘定の状況(単体)		4
5. 重要計数・指標の状況(連結・単体)		5
6. 2020年度業績予想等(連結・単体)		6

決算計数資料

I. 2020年度中間決算の概況

1. 業務純益(単体)		7
2. 利回・利鞘(単体)		7
3. 有価証券関係損益(単体)		7
4. 与信費用(単体)		7
5. 有価証券の評価損益(連結・単体)		8
6. 1株当たり情報(連結・単体)		8
7. 自己資本比率(連結・単体)		9
8. ROE(単体)		9

II. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況(連結・単体)		10
2. 貸倒引当金等の状況(連結・単体)		10
3. 金融再生法開示債権及びその保全状況(単体)		11
① 金融再生法開示債権		
② 保全状況		
4. 業種別貸出状況等(単体)		12
① 業種別貸出金		
② 業種別リスク管理債権		
③ 消費者ローン残高		
④ 中小企業等貸出比率		
5. 預り資産残高		12

III. ご参考

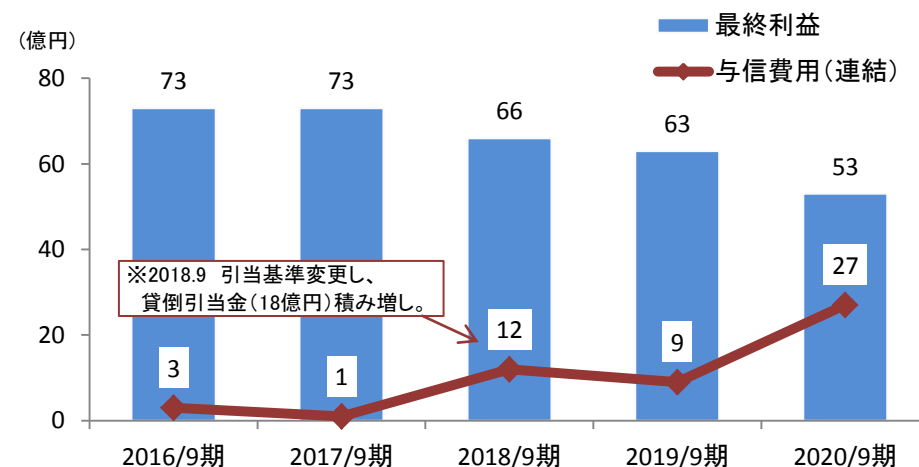
1. 部分直接償却を仮に実施した場合の リスク管理債権(単体)		13
2. 部分直接償却を仮に実施した場合の 金融再生法開示債権(単体)		13
3. 2020年9月末の自己査定結果と金融再生法開示 債権及びリスク管理債権(単体)		14

1. 2020年度中間決算ハイライト(連結)

業績概要

(単位: 百万円)	2019年度 中間期	増減		2020年度 中間期
経常収益	43,847	△ 784		43,063
資金運用収益	28,525	△ 920		27,605
うち貸出金利息	16,460	752		17,212
うち有価証券利息配当金	10,798	△ 1,029		9,769
うち投資信託解約益	1,574	△ 1,510		64
役務取引等収益	5,308	△ 235		5,073
その他業務収益	8,677	74		8,751
その他経常収益	1,336	297		1,633
経常費用	34,492	617		35,109
資金調達費用	2,320	△ 1,253		1,067
うち預金利息	778	△ 122		656
うち市場性資金調達費用	1,312	△ 1,041		271
役務取引等費用	2,083	26		2,109
その他業務費用	7,862	△ 230		7,632
営業経費	20,580	△ 155		20,425
その他経常費用	1,645	2,228		3,873
経常利益	9,354	△ 1,400		7,954
特別損益	△ 201	△ 51		△ 252
税金等調整前中間純利益	9,153	△ 1,452		7,701
法人税等合計	2,789	△ 370		2,419
親会社株主に帰属する中間純利益	6,356	△ 1,049		5,307
【参考】				
債券関係損益	△ 252	542		290
株式等関係損益	△ 49	△ 102		△ 151
与信費用	986	1,725		2,711
単体コア業務純益(除く投資信託解約損益)	8,634	1,794		10,428

最終利益の推移



決算のポイント

- 本業の成果を示すコア業務純益は、前年同期比プラスとなるなど順調に推移し、最終利益は、5月に公表した業績予想を上回る決算となりました。
- 以下の要因などにより最終利益は減益の決算となりました。
 - ・ コロナ禍を主因とする取引先企業の業況悪化などに伴う与信費用増加(前年同期比+17億円)
 - ・ 有価証券に係る取引のうち、投資信託解約益減少(前年同期比▲15億円)

【中間期業績予想との比較】

(単位: 百万円)	経常収益	経常利益	最終利益
業績予想(連結、5月13日公表)	42,300	7,000	4,700
当中間決算(連結)	43,063	7,954	5,307

2. 2020年度中間決算ハイライト(単体)

業績概要

(単位：百万円)	2019年度 中間期	増減	2020年度 中間期
経常収益	35,408	△ 917	34,491
業務粗利益	28,922	555	29,477
資金利益	26,283	340	26,623
うち貸出金利息	16,511	753	17,264
うち有価証券利息配当金	10,816	△ 1,028	9,788
うち投資信託解約益	1,574	△ 1,510	64
うち市場性資金調達費用	1,312	△ 1,041	271
役務取引等利益	2,743	△ 342	2,401
その他業務利益	△ 104	556	452
うち債券関係損益	△ 250	543	293
経費	18,964	△ 274	18,690
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 5	△ 472	△ 477
業務純益	9,963	1,301	11,264
実質業務純益	9,958	829	10,787
コア業務純益	10,209	284	10,493
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	8,634	1,794	10,428
臨時損益	△ 733	△ 2,494	△ 3,227
うち不良債権処理額 ②	962	2,081	3,043
うち個別貸倒引当金繰入額	891	2,129	3,020
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-
うち株式等関係損益	△ 49	△ 123	△ 172
経常利益	9,229	△ 1,193	8,036
特別損益	△ 193	△ 1,055	△ 1,248
うち減損損失(固定資産)	75	152	227
うち子会社株式評価損	-	995	995
法人税等合計	2,731	△ 320	2,411
中間純利益	6,303	△ 1,927	4,376
与信費用 (①+②-③)	957	1,609	2,566

単体決算のポイント

資金利益(前年同期比+3億円)

- 貸出金平均残高の増加により、貸出金利息は3期連続で増加。
- 有価証券利息配当金は投資信託解約益15億円の減少を主因に前年同期比10億円減少。
- 上記のほか、市場性資金調達費用(コールマネー利息、債券貸借取引支払利息)が減少したことなどから資金利益は前年同期比3億円増加。

役務取引等利益(前年同期比▲3億円)

- 対面営業が制限される中、各種手数料収入が減少したことなどから前年同期比3億円減少。

経費(前年同期比▲2億円)

- 基幹システム更新に伴うランニングコスト削減効果のほか、新型コロナウイルスの影響を受けた活動の自粛などによる経費減少などもあり、前年同期比2億円減少。

実質業務純益(前年同期比+8億円)

- 貸出金利息の増加や経費の減少などから前年同期比プラス。

コア業務純益(除く投資信託解約損益、前年同期比+17億円)

- 本業の成果を示す利益項目は順調に推移。

与信費用(前年同期比+16億円)

- コロナ禍を主因とする取引先企業の業況悪化などに伴い16億円増加。

特別損益(前年同期比▲10億円)

- 子会社株式評価損(9億円 ごうぎん証券株)を計上(連結決算上は消去)。

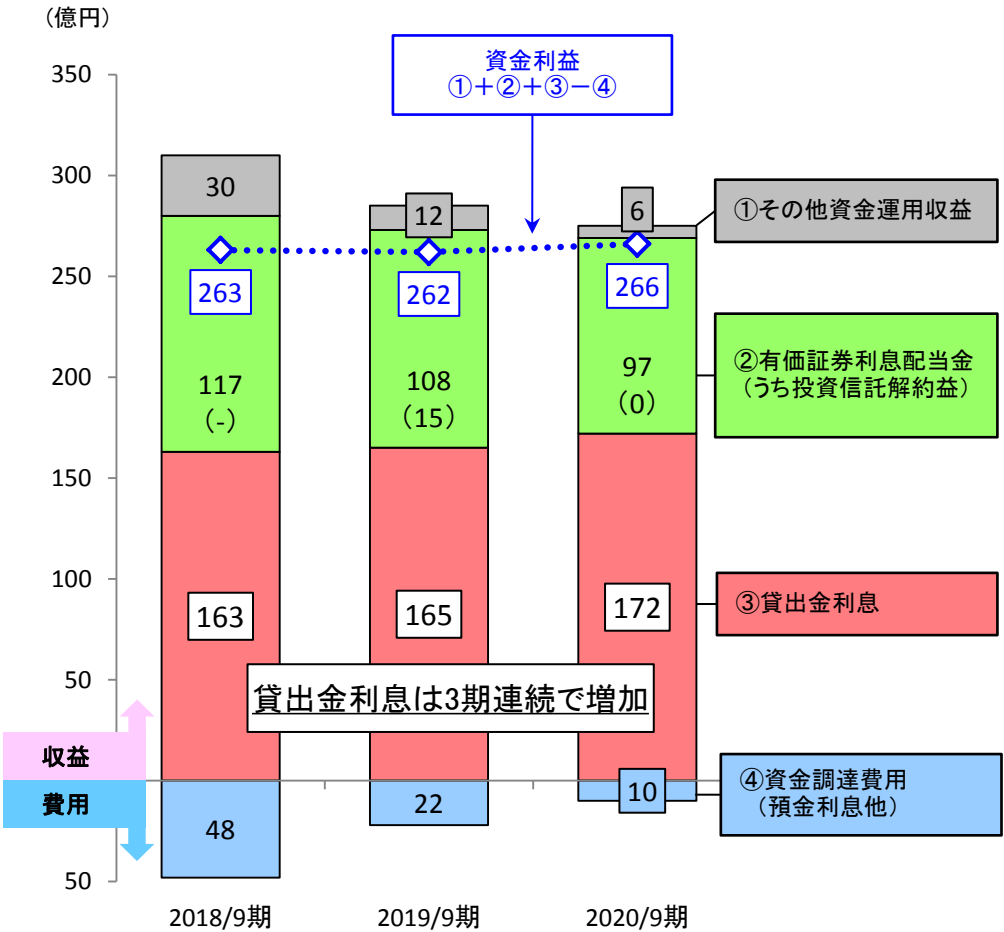


中間純利益 43億円(前年同期比▲19億円)

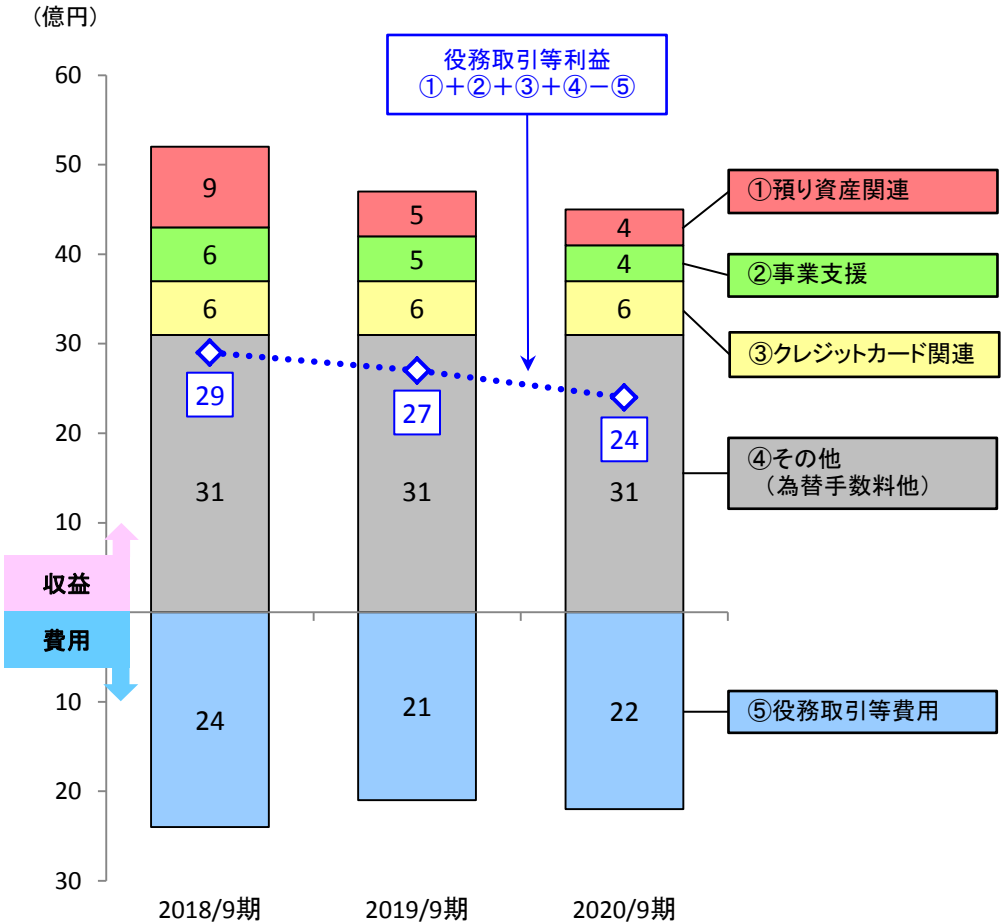
- ・ 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額 ・ コア業務純益＝実質業務純益－債券関係損益
- ・ コア業務純益(除く投資信託解約損益)＝コア業務純益－投資信託解約益
(投資信託解約損は債券関係損益に計上しております)

3. 資金利益及び役務取引等利益(単体)

資金利益の推移



役務取引等利益の推移

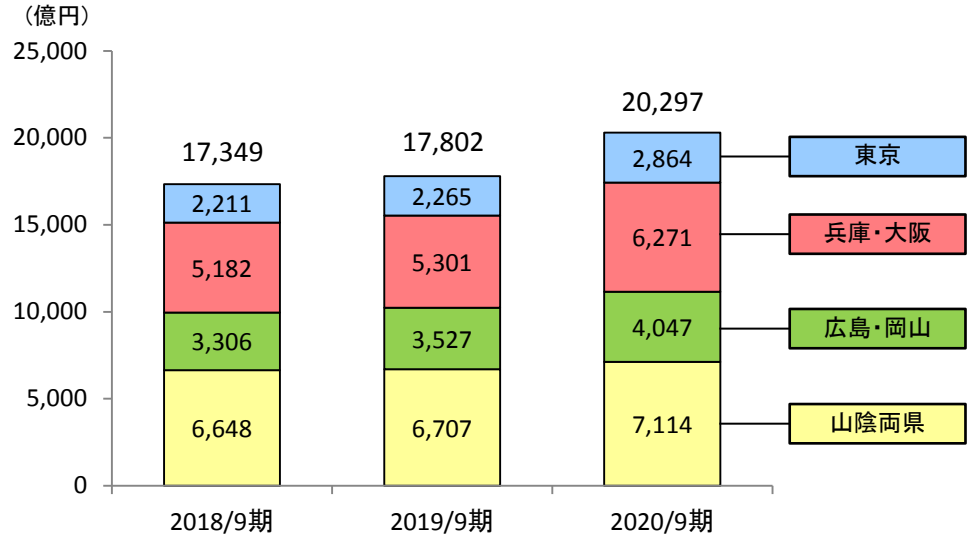


4. 主要勘定の状況(単体)

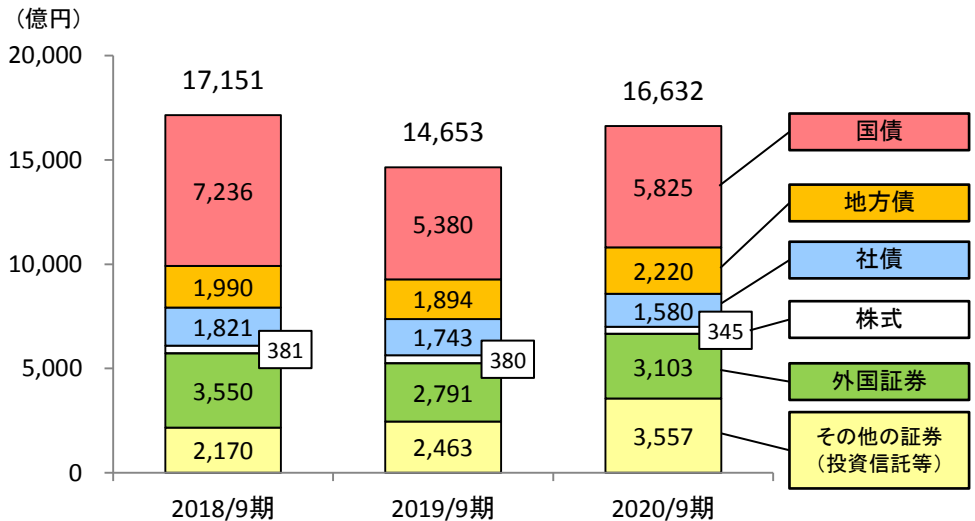
預金等、貸出金及び有価証券の平残

(単位：億円)	2019年度 中間期	2020年度 中間期		2020年度 中間期
		増減額	増減率(%)	
預金等	41,044	2,769	6.7	43,814
預金	38,487	3,096	8.0	41,583
うち個人(事業性個人含む)	26,330	1,301	4.9	27,632
うち法人	9,511	1,207	12.6	10,719
山陰両県	34,746	2,766	7.9	37,513
広島・岡山	1,886	85	4.5	1,971
兵庫・大阪	1,318	167	12.6	1,485
東京	152	107	70.2	260
本部	382	△ 29	△ 7.8	353
譲渡性預金	2,557	△ 326	△ 12.7	2,230
貸出金	30,902	3,085	9.9	33,987
うち個人	7,596	443	5.8	8,039
うち法人(事業性個人含む)	17,802	2,494	14.0	20,297
山陰両県	6,707	407	6.0	7,114
広島・岡山	3,527	519	14.7	4,047
兵庫・大阪	5,301	969	18.2	6,271
東京	2,265	599	26.4	2,864
有価証券	14,653	1,979	13.5	16,632
国債	5,380	444	8.2	5,825
地方債	1,894	326	17.2	2,220
社債	1,743	△ 162	△ 9.3	1,580
株式	380	△ 34	△ 9.0	345
外国証券	2,791	312	11.1	3,103
その他の証券	2,463	1,093	44.3	3,557

地域別・法人向け貸出金(平残)の推移

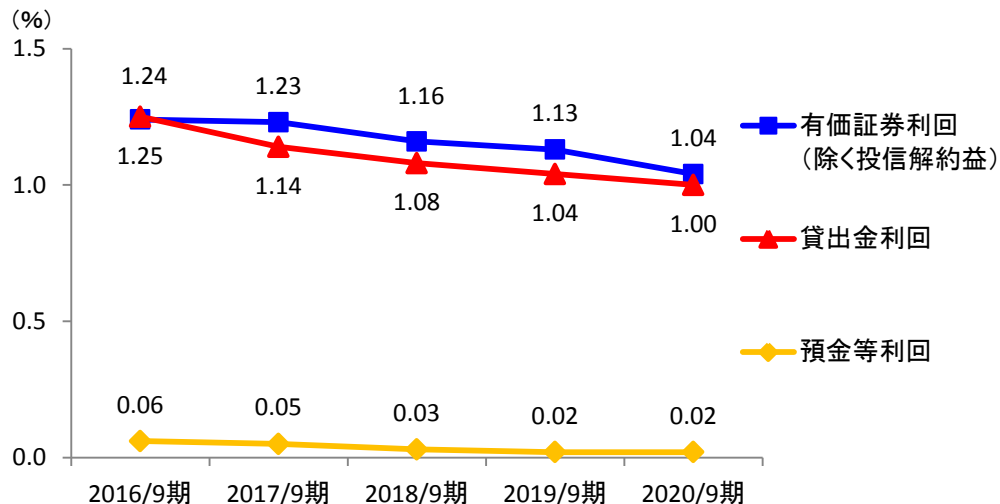


有価証券(平残)の推移

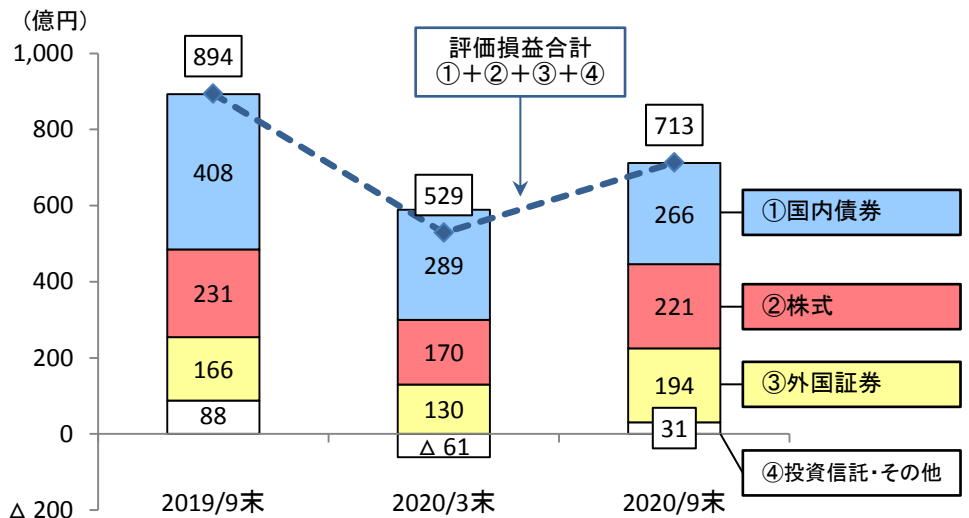


5. 重要計数・指標の状況(連結・単体)

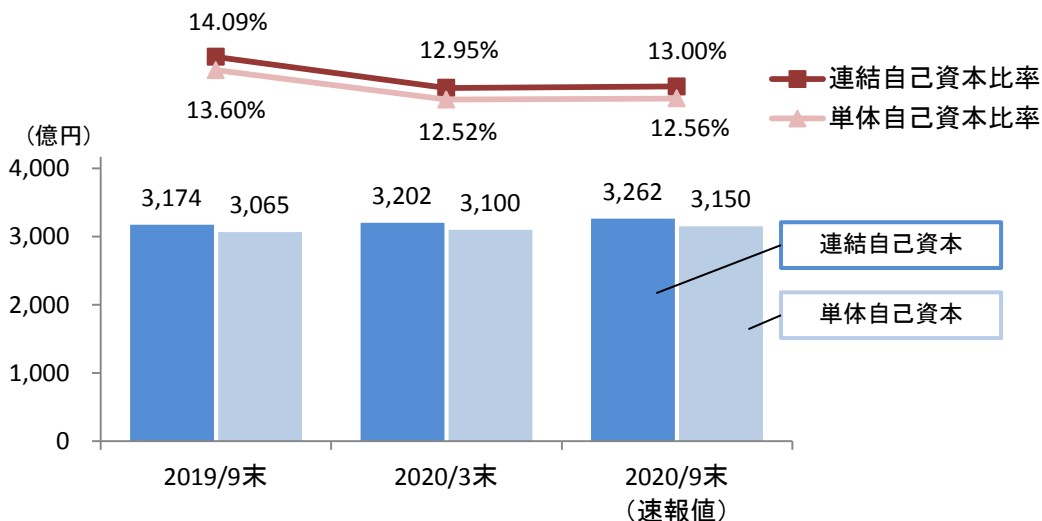
利回等(単体・国内)



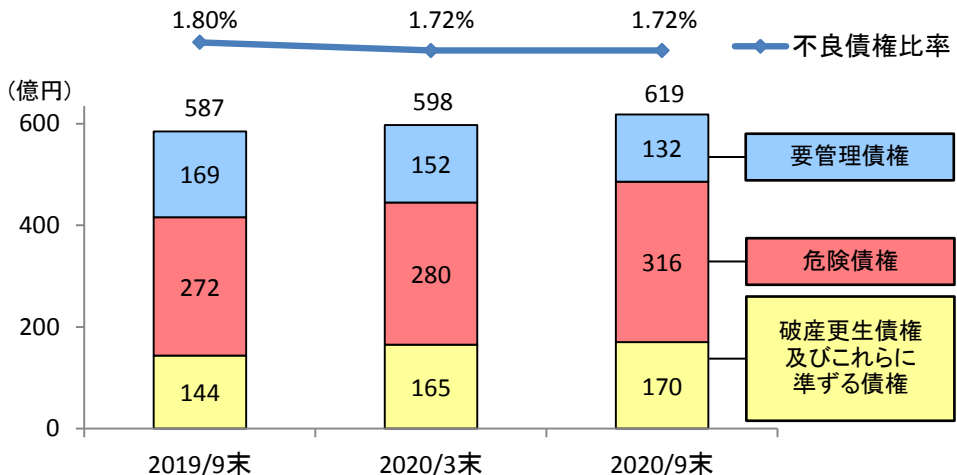
有価証券の評価損益(単体)



自己資本比率(国内基準)



不良債権の状況(金融再生法開示債権)(単体)



6. 2020年度業績予想等(連結・単体)

業績予想

(連 結)

(単位：百万円)	2020年度 中間期実績	2020年度 通期予想
経常収益	43,063	86,600
経常利益	7,954	13,200
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	5,307	8,700
(5月13日公表時の業績予想)	(4,700)	(8,700)

(1株当たり配当予想)

	中間配当	期末配当	年間配当
1株当たり配当予想	7円	9円	16円

(単 体)

(単位：百万円)	2020年度 中間期実績	2020年度 通期予想
経常収益	34,491	69,700
経常利益	8,036	12,800
当期(中間)純利益	4,376	7,500
(5月13日公表時の業績予想)	(3,600)	(7,500)
業務純益	11,264	22,400
コア業務純益	10,493	22,200

※連結最終利益(87億円)と単体最終利益(75億円)の差額は、子会社株式評価損を連結決算上で消去することなどによるものです。

(業績予想の前提としての与信費用:単体)

(単位：百万円)	2020年度 中間期実績	2020年度 通期予想
与信費用	2,566	6,200

業績予想の前提

新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、2020年4月から6月を底として経済活動が再開するも、緩やかな回復に留まっております。新型コロナウイルス感染症の影響は、前回公表時点(5月)において2020年9月頃には収束するものと仮定しておりましたが、2021年3月以降、徐々に収束していくとの仮定に変更しております。

業績予想においては、取引先企業の業況悪化に伴う与信費用について、上半期の状況を考慮し、当初予想した水準を維持し、通期で62億円を見込んでおります(当初予想比+1億円)。

業績向上に向けた構造改革への取組

2020年4月以降、以下の施策を実施しました。

- ・8～9月 店舗内店舗方式による店舗ネットワークの再編(33カ店)
- ・9月 野村證券(株)との包括的業務提携に基づく新仲介業務の開始
- ・11月 ごうぎん証券(株)を新仲介業務へ移行

今後も構造改革を推進するため、店舗ネットワークの見直し(出張所化10カ店)のほか、デジタル化の加速や人員の戦略的再配置などの施策を実施します。

※ご参考 中期経営計画の計数目標及び当期実績

	項 目	2020年度 中間期実績	2020年度 計数目標
連 結	親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	53億円	138億円以上
	非金利収益比率 ※	12.49%	19%以上
	ROE(株主資本ベース)	3.24%	4.2%以上
単 体	OHR(コア業務粗利益ベース)	64.04%	63%以下
	自己資本比率	12.56%	13%以上

※ (役務取引等利益+その他業務利益(債券関係損益を除く)) / 連結コア業務粗利益

I. 2020年度中間決算の概況

1. 業務純益【単体】

(百万円)

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	9,958	829	10,787
職員一人当たり（千円）	5,075	511	5,586
業務純益	9,963	1,301	11,264
職員一人当たり（千円）	5,078	755	5,833

2. 利回・利鞘【単体】

(全店分)

(%)

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
資金運用利回 (A)	1.16	△ 0.15	1.01
貸出金利回	1.06	△ 0.05	1.01
有価証券利回	1.47	△ 0.30	1.17
資金調達原価 (B)	0.80	△ 0.13	0.67
預金等利回	0.03	0.00	0.03
総資金利鞘 (A) - (B)	0.36	△ 0.02	0.34

(国内業務部門分)

(%)

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
資金運用利回 (A)	1.07	△ 0.13	0.94
貸出金利回	1.04	△ 0.04	1.00
有価証券利回	1.40	△ 0.35	1.05
資金調達原価 (B)	0.79	△ 0.10	0.69
預金等利回	0.02	0.00	0.02
総資金利鞘 (A) - (B)	0.28	△ 0.03	0.25

3. 有価証券関係損益【単体】

(百万円)

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
債券関係損益	△ 250	543	293
売却益	417	23	440
償還益	-	-	-
売却損	12	22	34
償還損	656	△ 544	112
償却	-	-	-
株式等関係損益	△ 49	△ 123	△ 172
売却益	563	367	930
売却損	586	392	978
償却	27	97	124

4. 与信費用【単体】

(百万円)

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
個別貸倒引当金繰入額	891	2,129	3,020
貸出金償却	-	-	-
その他債権売却損等	71	△ 48	23
不良債権処理額 ①	962	2,081	3,043
一般貸倒引当金繰入額 ②	△ 5	△ 472	△ 477
貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-
与信費用 (①+②-③)	957	1,609	2,566

(注) 一般貸倒引当金繰入額及び個別貸倒引当金繰入額の合計が戻入となる場合は、一括して貸倒引当金戻入益に計上することとしております。

5. 有価証券の評価損益

【連結】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
満期保有目的	△ 378	240	△ 138
その他有価証券	55,048	18,496	73,544
株式	18,762	5,434	24,196
債券	29,355	△ 2,570	26,785
その他	6,930	15,632	22,562
合 計	54,669	18,736	73,405

【単体】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
満期保有目的	△ 372	238	△ 134
その他有価証券	53,369	18,163	71,532
株式	17,083	5,100	22,183
債券	29,355	△ 2,570	26,785
その他	6,930	15,632	22,562
合 計	52,997	18,400	71,397

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)(連結)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

なお、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

6. 1株当たり情報

【連結】

(円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
1株当たり純資産	2,314.51	103.33	2,417.84

【単体】

(円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
1株当たり純資産	2,265.44	93.26	2,358.70

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
1株当たり中間純利益	40.73	△ 6.65	34.08
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	40.63	△ 6.61	34.02

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
1株当たり中間純利益	40.39	△ 12.28	28.11
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	40.29	△ 12.24	28.05

7. 自己資本比率

【連結】

(百万円、%)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	(速報値)
(1) 自己資本比率(国内基準)	12.95	0.05	13.00
(2) コア資本に係る基礎項目	324,501	5,753	330,254
(3) コア資本に係る調整項目	4,276	△ 242	4,034
(4) 自己資本 (2)－(3)	320,224	5,995	326,219
(5) リスク・アセット等	2,472,310	35,845	2,508,155
(6) 総所要自己資本額	98,892	1,434	100,326

8. R O E

【単体】

(%)

	2019年度中間期	2020年度中間期	
		増 減	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	5.38	0.59	5.97
業務純益ベース	5.38	0.86	6.24
中間純利益ベース	3.40	△ 0.98	2.42

(注)
$$R O E = \frac{\text{業務純益 (中間純利益)} \div 183 \times 365}{(\text{期首純資産の部合計 (除く新株予約権)} + \text{期末純資産の部合計 (除く新株予約権)}) \div 2} \times 100$$

【単体】

(百万円、%)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	(速報値)
(1) 自己資本比率(国内基準)	12.52	0.04	12.56
(2) コア資本に係る基礎項目	317,807	4,383	322,190
(3) コア資本に係る調整項目	7,732	△ 573	7,159
(4) 自己資本 (2)－(3)	310,075	4,956	315,031
(5) リスク・アセット等	2,476,380	31,289	2,507,669
(6) 総所要自己資本額	99,055	1,251	100,306

(注) 1. 総所要自己資本額は、リスク・アセット等の額に4%を乗じた額であります。

2. 「自己資本の構成に関する開示事項」につきましては、当行ホームページ (<https://www.gogin.co.jp/>)をご覧ください。

Ⅱ. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

【連結】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
リスク管理債権額	59,442	2,188	61,630
破綻先債権額	3,870	1,073	4,943
延滞債権額	40,353	3,094	43,447
3カ月以上延滞債権額	-	52	52
貸出条件緩和債権額	15,218	△ 2,032	13,186
貸出金残高（末残）	3,322,376	131,871	3,454,247

貸出金残高比

(%)

リスク管理債権額	1.78	0.00	1.78
破綻先債権額	0.11	0.03	0.14
延滞債権額	1.21	0.04	1.25
3カ月以上延滞債権額	-	0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.45	△ 0.07	0.38

(注) 当行は部分直接償却を実施しておりません。

2. 貸倒引当金等の状況

【連結】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
貸倒引当金	40,465	2,556	43,021
一般貸倒引当金	18,845	△ 477	18,368
個別貸倒引当金	21,620	3,033	24,653
投資損失引当金	39	70	109

【単体】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
リスク管理債権額	59,442	2,188	61,630
破綻先債権額	3,870	1,073	4,943
延滞債権額	40,353	3,094	43,447
3カ月以上延滞債権額	-	52	52
貸出条件緩和債権額	15,218	△ 2,032	13,186
貸出金残高（末残）	3,353,056	131,629	3,484,685

貸出金残高比

(%)

リスク管理債権額	1.77	△ 0.01	1.76
破綻先債権額	0.11	0.03	0.14
延滞債権額	1.20	0.04	1.24
3カ月以上延滞債権額	-	0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.45	△ 0.08	0.37

3. 金融再生法開示債権及びその保全状況

①金融再生法開示債権【単体】

(百万円、%)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
破産更生等債権（注）	16,584	459	17,043
危険債権	28,013	3,681	31,694
要管理債権	15,218	△ 1,980	13,238
小 計（A）	59,817	2,159	61,976
正常債権	3,398,191	131,529	3,529,720
合 計（B）	3,458,008	133,689	3,591,697

（B）に占める（A）の割合	1.72	0.00	1.72
---------------	------	------	------

（注）「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」を略して表示しております。（以下同様）

②保全状況【単体】

(百万円、%)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
保全額（C）（イ+ロ）	47,215	2,984	50,199
担保等による保全額（イ）	23,242	586	23,828
破産更生等債権	5,497	△ 756	4,741
危険債権	14,946	1,592	16,538
要管理債権	2,798	△ 250	2,548
貸倒引当金残高（ロ）	23,972	2,399	26,371
破産更生等債権	11,087	1,214	12,301
危険債権	10,092	1,750	11,842
要管理債権	2,792	△ 565	2,227
カバー率（C）／（A）	78.93	2.06	80.99
破産更生等債権	100.00	-	100.00
危険債権	89.38	0.16	89.54
要管理債権	36.73	△ 0.66	36.07
引当率（ロ）／（A－イ）	65.54	3.58	69.12
破産更生等債権	100.00	-	100.00
危険債権	77.23	0.90	78.13
要管理債権	22.48	△ 1.65	20.83

4. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単体】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
国内店分			
(除く特別国際金融取引勘定)	3,353,056	131,629	3,484,685
製造業	427,976	30,482	458,458
農業、林業	10,234	△ 56	10,178
漁業	3,548	40	3,588
鉱業、採石業、砂利採取業	1,787	97	1,884
建設業	105,381	10,876	116,257
電気・ガス・熱供給・水道業	94,540	4,216	98,756
情報通信業	23,657	△ 2,480	21,177
運輸業、郵便業	118,731	41,790	160,521
卸売業、小売業	346,837	16,370	363,207
金融業、保険業	136,461	△ 3,233	133,228
不動産業、物品賃貸業	497,544	578	498,122
各種サービス業	350,514	29,594	380,108
地方公共団体	317,123	△ 25,271	291,852
その他	918,718	28,622	947,340

③消費者ローン残高【単体】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
消費者ローン残高	819,027	17,292	836,319
住宅ローン残高	716,764	18,991	735,755
その他ローン残高	102,262	△ 1,699	100,563

④中小企業等貸出比率【単体】

(%)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
中小企業等貸出比率	69.58	0.15	69.73

②業種別リスク管理債権【単体】

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
国内店分			
(除く特別国際金融取引勘定)	59,442	2,188	61,630
製造業	11,166	993	12,159
農業、林業	130	△ 1	129
漁業	872	178	1,050
鉱業、採石業、砂利採取業	-	40	40
建設業	2,572	106	2,678
電気・ガス・熱供給・水道業	230	0	230
情報通信業	134	△ 14	120
運輸業、郵便業	1,452	62	1,514
卸売業、小売業	13,623	181	13,804
金融業、保険業	2,935	△ 1	2,934
不動産業、物品賃貸業	4,456	△ 164	4,292
各種サービス業	13,383	814	14,197
地方公共団体	-	-	-
その他	8,486	△ 8	8,478

5. 預り資産残高

(百万円)

	2020年3月末	2020年9月末	
		増 減	
当行グループの預り資産残高	373,492	3,541	377,033
当行の預り資産残高	246,751	3,402	250,153
公共債	13,809	△ 1,354	12,455
投資信託	60,859	4,105	64,964
年金保険	172,081	651	172,732
ごうざん証券の預り資産残高	126,740	140	126,880

(注)「年金保険」には、一時払個人年金保険の販売累計額を記載しております。

Ⅲ. ご参考

1. 部分直接償却を仮に実施した場合のリスク管理債権【単体】

(百万円)

	2020年9月末		差 異
	部分直接償却前	部分直接償却後	
リスク管理債権額	61,630	50,996	△ 10,634
破綻先債権額	4,943	1,477	△ 3,466
延滞債権額	43,447	36,280	△ 7,167
3カ月以上延滞債権額	52	52	-
貸出条件緩和債権額	13,186	13,186	-
貸出金残高（未残）	3,484,685	3,474,052	△ 10,633

貸出金残高比

(%)

リスク管理債権額	1.76	1.46	△ 0.30
破綻先債権額	0.14	0.04	△ 0.10
延滞債権額	1.24	1.04	△ 0.20
3カ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
貸出条件緩和債権額	0.37	0.37	0.00

2. 部分直接償却を仮に実施した場合の金融再生法開示債権【単体】

(百万円、%)

	2020年9月末		差 異
	部分直接償却前	部分直接償却後	
破産更生等債権	17,043	6,101	△ 10,942
危険債権	31,694	31,694	-
要管理債権	13,238	13,238	-
小 計（A）	61,976	51,035	△ 10,941
正常債権	3,529,720	3,529,720	-
合 計（B）	3,591,697	3,580,755	△ 10,942
（B）に占める（A）の割合	1.72	1.42	△ 0.30

保全状況

(百万円、%)

保全額（C）（イ+ロ）	50,199	39,258	△ 10,941
担保等による保全額（イ）	23,828	23,828	-
貸倒引当金残高（ロ）	26,371	15,429	△ 10,942
カバー率（C）／（A）	80.99	76.92	△ 4.07
引当率（ロ）／（A－イ）	69.12	56.71	△ 12.41

3. 2020年9月末の自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

(億円)

自己査定結果（債務者区分別） 対象：貸出金等与信関連債権				
区分 与信残高	分 類			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 50	(0) 40	(10) 10	(4) -	(35) -
実質破綻先 119	(13) 95	(23) 23	(8) -	(73) -
破綻懸念先 318	(110) 228	(56) 56	(151) 33	
要 注 意 先	要管理先 160	22	137	
	要管理先 以外の要 注意先 2,877	839	2,037	
正常先 32,390	32,390			
合 計 35,916	(33,377) 33,618	(2,265) 2,265	(165) 33	(109) -

金融再生法開示債権 対象：貸出金等与信関連債権				
区分 与信残高	引当額	担保等による 保全額	カバー率	引当率
破産更生等債権 170	123	47	100.0%	100.0%
危険債権 316	118	165	89.5%	78.1%
要管理債権 (貸出金のみ) 132	22	25	36.0%	20.8%
小 計 (619)	(263)	(238)	(80.9%)	(69.1%)
正常債権 35,297	151			
合 計 35,916	415			

リスク管理債権 対象：貸出金	
区 分	貸出金残高
破綻先債権	49
延滞債権	434
3か月以上 延滞債権	0
貸出条件 緩和債権	131
合 計	616

- (注) 1. 貸出金等与信関連債権とは貸出金、支払承諾見返、外国為替、貸出金に準ずる仮払金、未収利息及び金融機関保証付私募債であります。
2. 自己査定結果（債務者区分別）における分類額は、直接償却・個別貸倒引当処理後の金額を記載しております。
- また、Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ分類の（ ）内は個別貸倒引当金控除前の分類額、非分類の（ ）内はⅡ・Ⅲ・Ⅳ分類額に対する個別貸倒引当金を加算する前の分類額であります。
- なお、破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済であります。
3. 破綻懸念先には、複数の債務者に対する転貸債権の状況により開示区分を決定すべき与信形態のものが含まれておりますので、破綻懸念先債権額と危険債権額は一致しておりません。
4. カバー率には与信残高に対する引当額・担保等による保全額の割合を、引当率には与信残高から担保等による保全額を除いた部分に対する引当額の割合をそれぞれ記載しております。